

カヌースプリント

田辺の中高校生 日本代表

岩瀬君、濱本君、小林さん

カヌースプリントのジュニア・U23(23歳以下)海外派遣選手最終記録会(日本カヌー連盟主催)が4月25～28日、兵庫県六甲市の音水湖カヌー競技場であり、田辺カヌースプリントクラブ(CSC)の岩瀬智哉君(田辺市新庄中学校3年)、濱本子龍君(同)、小林実央さん(神島高校3年)がそれぞれ出場した種目で優勝し、日本代表に内定した。



海外派遣選手最終記録会で優勝し、日本代表に内定した(左から)岩瀬智哉君、小林実央さん、濱本子龍君
 兵庫県六甲市で、田辺カヌースプリントクラブ提供

記録会には規定タイムをクリアした選手が全国から参加した。

岩瀬君は、U15(15歳以下)男子カヤックシングルの500m(4人出場)、1000m(3人出場)でともに優勝した。得意の500mでは2位に3秒差をつける2分24秒374で優勝。1000mでは4分29秒620を記録して自己ベストを更新し、2位に14秒の大差をつけた。

U15男子カナディアンシングル500m(4人出場)で57秒145を記録し、2位に1秒差で優勝した。同じ種目のオリンピック選手で、神島高校カナディアン部の阪本直也教諭から直接指導を受け、目標の日本代表入りを決めた。

岩瀬君と濱本君は、9月にスロバキアである「オリンピックホープス」に出場する。

岩瀬君は「外国人選手に勝てるよう練習から本気で取り組む」、濱本君は「世界の高いレベルで悔いの残らないレースをしたい」と抱負を語る。

小林さんは8月にルーマニアである世界ジュニア選手権

に出場する。「世界を相手に戦えるかは分からないけど、次につながる大会にしたい」と話している。

田辺CSCからは、富塚晴之君(田辺工業高校3年)が3月にあった海外派遣選手の選考会のジュニア男子カヤックシングルで好成績を残し、日本代表に決まっている。田辺CSCから日本代表に選出された選手はこれまで、年間で高校生2人が最多だったが、今年は中高生の4人が日本代表として国際大会に出場

する。
 田辺CSCの谷地利和監督(47)は「田辺工業高校カヌー部顧問は指導体制が整い、カヌー部の顧問だけでなく、Bらが指導してくれている」とが大きい。小学生からカヌーをする子も増え、全体的にレベルが上がっている」と話している。